

真人の風

第 63 号(不定期)
(令和 6年6月25日)
(全戸配布)

地域づくり63号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002

買物ツアー実証実験 7月より継続します

コミュニティバスを活用した実証実験として、岩沢地区のコミュニティバスの空き時間を利用して昨年2回の買い物ツアーを行いました。利用者のアンケート結果やその後お寄せいただいた声から、今年度の「チャレンジ事業」で7月から月1回開催で11月までの5か月間の継続をレジックプラン実践委員会で実施をすることになりました。

実証実験と並行し、実施後はその後の運行や運営をどのようにするかを検討を考えていきます。



7月5日(金)
買物ツアー実施!

7月5日(金) 買物ツアー開催

先月号で予告していました実証実験第一弾となる買物ツアーを左記のとおり開催します。ご参加をお待ちしています。

開催日時 7月5日(金)
9時30分集合

集合場所 真人ふれあい交流館

・足元の不自由な方などには送迎をします。申込みの際にお伝えください。

買物先 マルイ東小千谷店

買物時間 約40分

交通費 ご寄付(300円程度)

申込み 真人ふれあい交流館
Tel. 86-3002

申込内容 お名前、町内名、連絡先
(電話番号)、送迎の有無をお伝えください。

対象者 真人里地区住民
6名を予定

申込人数 (申込者多数の場合は増便の検討をします)

申込期限 令和6年7月2日(火)

※申し込み締め切り後、予定人数を超えていた場合には出発時間等について調整させていただきます。その後連絡します。また、送迎が必要な方には、別途送迎時間の連絡をします。

問合せ先 真人ふれあい交流館
事務局 渡邊・丸山
Tel. 86-3002

※申し込み、問い合わせは平日の午前9時から17時におねがいします。また、申込期限はその日の17時までとします。

コミュニティバス 配置に向けて検討

真人地区振興協議会の専門部会として、10年後を見据えたレジックプランの実践に向けて取り組みをしているレジックプラン実践委員会では、コミュニティバスの導入と運営についての協議を進め、その結果を真人里地区振興協議会へ申し入れすることに進めていきます。

【コミュニティバス導入】

小千谷市では、市の上位計画となる「第5次 小千谷市総合計画 後期基本計画」において、これからのまちづくりの基本的方向が示されています。(後期基本計画の策定期間は令和3年度から令和7年度で令和3年3月に策定されました)

この基本計画に基づき、市が実施する事業について実施計画を定め、事業化が進められています。

真人地区へのコミュニティバスの配置については、今までの地域の取り組み状況や地域の機運の醸成などを考慮しながら進められてきました。

この度、岩沢地区のコミュニティバス更新とともに新たな車両1台を含めた2台の車両の要望を宝くじ財団に申請をしていたところ、これが認められたことから、6月議会に予算化がされました。(専決処分の報告)この新たな車両1台は、真人地区で導入が可能な体制が構築された場合に、真人地区へ配置して地域内の公共交通対策に活用することを主体に活用されるものとされ、車両の発注がされました。

【地域で運営に活用】

真人地区での利用を見据え、コミュニティバスの利用組織と運営の実現に向けた取り組みを進めていきます。

真人地域の交通不便地区と公共交通のバス路線への接続や、117号線運行バスの始発バスや終バスへの接続利用も考えられます。

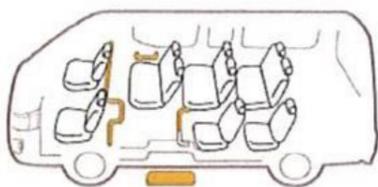
また、地域内の病院への通院、真人ふれあい交流館への来館などの巡回バスの運行や、空き時間を利用したデイホーム、福祉会、健康教室、高齢者学級などへの送迎なども行うことが出来ます。また遊舞会への練習や習い事への送迎などや、町内老人会での温泉ツアーなどへの利用も可能と考えられます。

地域の活用方法を話合ってから、小千谷市(ごきわい交流課)と協議後に協定書により運営がされる予定となります。

今後、具体的な取組について協議を進め、皆様に伝えながら進めてまいりますのでご理解とご協力をお願いします。



定員
10名



送迎タイプワゴンGX (10人乗)
スーパーロングボディワイド幅 ハイルーフ

コミュニティバス実証実験

レジックプラン実践に伴う新潟県の単独事業が今年度も「チャレンジ事業」として支援いただけることから、真人里地区の敬老会などの送迎についても取り組みを検討していきます。

今後関係者と協議を行って取り組みの具体的な内容を詰めていきたいと考えています。

このため、運転ができる方のご協力をお願いいたします。運転手登録を行い保険などの適用が行えるようにして協力をいただくこととしています。

協力できる方は真人ふれあい交流館にご連絡願います。

レジックプラン実践委員会事務局
担当 渡邊・丸山 Tel. 86-3002)

まっこのキャブリースは

もっと**ホット**に

キラキラとまっくわー!

みんなが地域への頑張りを

市政懇談会 市長と車座トーク 真人里地区・北部地区

市政懇談会が開催され、小千谷市のまちづくりなどの話題提供が宮崎市長から行われた後、参加者との対話が行われました。

【真人里地区】

5月29日(水)午後7時より真人里あい交流館で開催され、芋時地区からの参加も含めて26名で対話が進められました。

女性の参加は3名でしたが、それぞれの方から発言があり、地域を良くしたいとの気持ちが伝わってきました。

小千谷市の人口現状や見通し等の話題提供の後に住民の声に答える



5月29日 真人ふれあい交流館

形が進められ、市の情報発信、共有の改善や町内会長の事務の簡素化、町内のスリム化などが提起されました。また、若い女性の呼び込みや少ない女性でも多くの子どもが育てられれば自然と子供が増えることから、子育て環境などへ考慮が必要との意見も出されました。

農村地域へ農業移住者の募集状況などには、地域おこし協力隊募集をしているとの回答のほか、これまで作り手がいくら頑張っても、他地域のお米と同じ値段で消費されているとし、中山間地で作られるコメのブランド化を進め、首都圏への売り込みを行うなどの仕組みづくりをしていきたいと話していました。

参加者が市長と膝をつき合わせた車座で話合いが進められました。参加者も少なかつたことや、県議時代からお付き合いもあるなどから穏やかに話が進み、聞く環境も良かったことから宮崎市長の取組みや思いが十分に話され、何度も「こまめで話していいかな」と言いながら話を進め、聞かれた進行役の増川補佐も振りないでと苦笑いでした。

6月13日 若栢集落センター



6月13日(木)午後7時より若栢集落開発センターで開催され、13名の

【真人北部地区】

6月13日(木)午後7時より若栢集落開発センターで開催され、13名の

参加者が市長と膝をつき合わせた車座で話合いが進められました。

参加者も少なかつたことや、県議時代からお付き合いもあるなどから穏やかに話が進み、聞く環境も良かったことから宮崎市長の取組みや思いが十分に話され、何度も「こまめで話していいかな」と言いながら話を進め、聞かれた進行役の増川補佐も振りないでと苦笑いでした。

小千谷市の人口もさることながら、北部地区だけでの人口推計も出すことはできませんが、限界集落や地域の環境は厳しいものがあります。集落の終末の課題も抱え、超々少子高齢化の地区ではありませんが、語られた小千谷のまちづくりの中でどれだけ貢献できるかは小さなものであっても、「声掛け大作戦」などでは知人友人へのアプローチ(U・ターナー)を皆で進めることは可能です。外部人材の移住や、空き家活用でも地域の維持継続を伸ばすことはできます。震災以降取り組みを進めた実績のある地域だけにアイデアと人脈の宮崎市長との取り組みに期待を寄せるところです。

今回の市政懇談会は話しやすい環境に配慮され、車座トークとして進められ、従来よりも発言がありました。時間が許せば対話としてのやり取りで更に盛り上がりもあるものと感じました。



美味しいまっとう米 お米を診断・食味を評価

真人のお米はおいしいと自信を持って言えますが、その裏付けについて問われると答えられるでしょうか。

今回ビレッジプラン実践委員会農業分科会では、令和6年産のまっとう米について、JAが発行する品質診断結果を利用したまっとう米の集計による評価や関係機関に代表サンプルを外注することによる、お米を炊飯しての品質診断を行うことを検討しています。

これらの品質診断により、新規取引先の信頼獲得や品質を把握した栽培管理に役立てることが出来ます。また、炊飯した食味評価では炊いた時の美味しさを数値で示したり、炊きあがった時の特徴などが説明されます。

これらは、ブランド米としての取組みの一部となりますが、今後の取組みに必要となるものであることから、まずは取組みの一步としていきたいと考えています。ただ、分析については外注をお願いすることとしていきますので、分析価格の経費からサンプル数は代表するもの数点に限定して行うこととなります。



米の性質分析

QRコードは診断結果報告書を見本



まっとう米

みんな地域への頑張ろう

ビレッジプラン実践委員会

5月23日(木)午後から真人ふれあい交流館でビレッジプラン実践委員会を開催し、令和6年度の活動について協議が行われました。

今後、農業分科会、活性化分科会において具体的な取組について話し合いを持ちます。

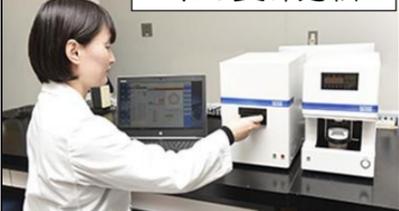
その後今年度のチャレンジ事業の申請を行って活動を進めていきます。ご協力をお願いします。



米・炊飯品種鑑定



米の食味分析



真人の風

(令和6年6月25日)
(全戸配布)

おしらせ版 14号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002

ふれあいウォーク

公民館真人分館

6月2日(日)の朝の天候に恵まれない中で、ふれあいウォーク開催を知らせる花火の打ち上げにより、55名の参加者が真人ふれあい交流会に集まりました。心配された雨も開会式を前にあがり、その後のウォーク終了時まで無事に進めることができました。

今回は、熊の目撃情報も賑やかなことを受け、信濃川河川沿いの遊水地計画で変貌する前の下夕島の堤防沿いを見ることも含めたコース設定でありました。

ふれあいウォークの運営には公民館真人分館が主催ですが、今年もアイホームスタッフが飲食に協力いた

だき、おいしい豚汁がいただけました。また、今年は保健推進員の方々からもご協力をいただき、コロナ禍の運動会の代替事業で始めた事業ですが、参加者にも喜ばれ定着してきました。



が飲食に協力いた

雨の止んだ交流館からスタート



信濃川堤防のさわやかな風と空気を満喫



Bコースゴール手前



美味しい豚汁いつもありがとう



カメラルポ



Aコースゴール手前

国家公務員初級者研修

令和6年度採用の国家公務員の初級者研修が開催され、小千谷市に5人の研修生を迎えて、体験や意見交換がおこなわれました。

にぎわい交流課においても2名(文部科学省、経済産業省)の新採用者の研修割り当てを半日いただき、5月23日(木)午後から真人ふれあい交流館において、真人地区の現状や問題・課題や取り組みについてを意見交換の題材として説明しました。

その後、にぎわい交流課安達交流推進係長の進行に瀧澤真人里地振興協議会長、田中市議会議員、渡邊地域づくり支援員と意見交換を行いました。研修生にとっては小規模自治体の地域の実情を知る機会となり、関心を持って関わっておられ、提言的な質問もいただきました。



研修生には、本業の業務とはかけ離れたのは、翌週から国民や国益のために奮闘されていることと意思を

「お知らせ」

風鈴募集します

物好きクラブ

物好きクラブ代表田中辰一では、めいごい広場で使用する不要となつてい風鈴を募集しています。ご家庭で眠つてたり、不要となつてい風鈴がありましたらご提供願います。ご協力よろしくお願ひします。

問合せ先 中山町内 田中辰一

TEL 86-2619

※提供いただける風鈴がありましたら真人ふれあい交流館でお預かりもします。

遊水地工事説明会

真人遊水地整備工事の施工方法や工事期間中の運行ルートの説明を行いたいとする工事説明会の開催通知が回覧で周知されました。

○工事の発注者

北陸地方整備局信濃川河川事務所
十日町出張所

TEL 025-752-2180

○工事請負者(施工業者)

(株)大石組

○工事説明会

日時 令和6年6月28日(金)
午後 7時〜

会場 真人ふれあい交流館

※下夕島地内のほ場関係については、対策委員が組織されて対応がなされてきましたが、ほ場関係以外の地域内で工事に関係する説明もありますので気になる方はご参加ください。

地域の花植え

各地域で花植えが行われ、癒しの空間ができました。

フラワーロード

5月26日(日)公民館真人分館主催のフラワーロード作戦による花植え



旧保育園脇の県道沿いで植栽

がデイホームスタッフがスタッフなどのお手伝いを得て、旧保育園脇の県道や上沢花壇、めいごい広場で行われ、真人住民センター前に集合した参加者(29名)はマリーゴールドなどを水に浸しながら丁寧に植えていました。

デイホーム主催の地域で花植え



市之沢花壇

5月28日(火)に市之沢クラブ前の市之沢花壇でデイホーム北部地区利用者により北部地区の玄関先の花植えが雨の中行われました。参加の皆様お疲れさまでした。

5月30日(木)に地域福祉センターみなみ前の花壇で芋時地区の利用者



などで花植えが行われ、きれいに整備がされました。



時之島福祉センター南前花壇

恒例サクラランボ狩り

デイホームまっこ

デイホームまっこでは、恒例のサクラランボ狩りを6月12日(水)里地区24名と14日(金)北部・芋時地区27名で聖籠町の加藤農園へ出かけました。

昨年の猛暑により、サクラランボの出来は悪いようでしたが楽しい時間をそれぞれが楽しんできました。



6月14日 北部・芋時地区



6月12日 真人里地区



【編集後記】

雨の日や雪の日でも室内でランニングができればと、ランニングマシンの寄贈を事務所隣の森山さんから頂き、真人ふれあい交流館の1階に設置がされ、威張っている腹対策に使ってみました。事務所が空いている時に住民の皆様からもご利用ください。



さて、先般掲載記事について、「あったこと終わったことだけ書いてそれ以外の余計なことは書くな」と直接でなく人を介して話がありました。記事の掲載には発行の責任者からも確認いただくなどを行っておりますので、其方のほうにも話して頂ければと思っておりますが、そもそも余計なことを掲載していることはいと書いていますので、掲載には留意をしながら今後も進めていきたいと考えています。住民の皆様からも会報誌について何か不都合がありましたらお知らせ頂ければ対応して参りたいと思ひます。また、掲載記事などにご要望などありましたらお伝ください。可能な限り対応したいと考えています。今後とも地域づくりと地域へのお知らせや話題についてお知らせして参りたいと考えておりますので引き続きご理解とご協力をお願いいたします。(渡邊)